

おおかわみらい食堂プロジェクト



少子高齢化、8050 問題、孤立、孤独、困窮、家族機能の希薄化…。

大川市と大川市社会福祉協議会では誰一人取り残されない、安心して暮らせる地域を目指して、地域食堂（子ども食堂）を広げ、地域の“みらい”を一緒に創る活動「おおかわみらい食堂プロジェクト」に取り組んでいます。

地域食堂（子ども食堂）ってなあに？

昨今 TV、新聞などのメディアを通して、「子ども食堂」「地域食堂」という言葉を耳にすることが多くなりました。子どもを中心に無料または低額で食事をとることができる場所。また“だれがきてもいい”“だれがやってもいい”という趣旨のもと、年齢や属性にとらわれず誰でも参加ができることから、新たな地域コミュニティとして広がりをを見せています。

2012 年より東京で始まったとされる“子ども食堂”。貧困対策や子育て支援ではなく、安心して人とつながる場所いわゆる多世代交流の場所として認識されはじめ、2024 年度では、全国で 10,866 カ所*となっており、全国の公立・私立中学校の数を上回る件数となっています。

地域コミュニティが希薄になっている今、年々この子ども食堂（地域食堂）が増加をしている背景として、地域の中で「立ち上げたい」「応援したい」とたくさんの方々に興味関心を寄せていること、地域の中でゆるやかに繋が

りたいというニーズが高いことが考えられます。

活動主体や実施頻度、場所は様々で、自治会や企業、団体、住民有志、子ども会などを主体として月に 1 回～2 回、不定期開催など比較的無理なく取り組みやすい方法で実施されています。

*認定 NPO 法人全国子ども食堂支援センター・むすびえ及び地域ネットワーク団体調べ

大川市での取り組みの一例



道海島地区では、道海島小学校保護者有志による『わくわくどーかい愛ランド食堂』がはじまりました。“こどももおとなもみんなおいでよ!”を合言葉に月に 1 回開催されています。

あなたのできる事でこの活動に参加しませんか？

みらい食堂プロジェクトとは

まずは子どもを中心に地域の誰もがお腹一杯に満たされること。そして地域の居場所となり、地域の中で孤立・孤独の防止や解決につなげる“みらい”をつくるプロジェクトです。

～募金箱の設置～



～寄付で応援～

- みらいチケット協力店でチケットを購入
 - 募金
 - 賛助会員として寄付
- 【お振込みは…】

大川信用金庫 本店
店番 001 口座 No. 1674650
（フク）オオカワシヤカイフクシキョウギカイ

※大川信用金庫各店舗窓口でお振込みいただく場合に限り、振込手数料はかかりません。（ATM、ネットバンキングおよび他行よりお振込みの場合は、振込手数料がかかります。）

～みらいチケット協力店・みらい食堂の立ち上げ～

～みらいチケット協力店～



賛同してくださったお客様に 1 枚 300 円程度のチケットをご購入いただきます。ご購入いただいたチケットを利用して、中学生までの子どもに食事を無料で提供します。

※のぼり旗・ステッカーをお渡しします。

～みらい食堂～



主に地域の中学生までの子どもを対象に、無料または低額で食事ができ、併せて学習支援等の多世代交流の場を展開します。

～ボランティアでお手伝い～

あなたのできることでみらい食堂をお手伝い。（食事づくり、配膳、学習支援、食材の提供など）ご自身の社会参加、貢献、活動の場、生きがいづくりになります。



募金箱設置のご協力

令和 6 年 11 月以降新規設置分（順不同・敬称略）

○株式会社 モーブル

○株式会社 庄分酢

○大川中央ライオンズクラブ